

主務課：予報部予報課		関係課：予報部数値予報課、観測部管理課		
業績指標名 飛行場予報の精度 (飛行場の風向・風速予報の適中率)		単位 %	現況値(時点) 風向：66 風速：64 (平成13年度)	目標値(年次) 風向：68 風速：67 (平成17年度)
関連アウトカム目標(関連施策等) 交通安全の確保(航空機のための気象情報の充実・改善)				
業績指標の解説 「飛行場予報の精度(飛行場の風向・風速予報の適中率)」とは、飛行場予報の風向と風速について、対象とした全事例に対して予報値が一定の誤差幅に入った割合をいう。一定の誤差幅とは、それぞれ、風速の観測値が10kt(ノット)(*)以上の対象事例に対して風向の予報値が観測値の±30度未満、風速の観測値が15kt以上の対象事例に対して風速の予報値が観測値の±5kt以内のことである。 世界気象機関航空気象委員会専門家チームが提案する飛行場予報の精度検証の考え方(10kt以上の風は航空機の離着陸に影響し、その精度を把握することは飛行計画作成に有効)に沿って、風向・風速に係る業績指標を設定する。 (*) 1ノットは、およそ秒速0.5m				
目標設定の考え方 平成13年度から開始した精度評価において、13年度の適中率は、国内の主要3空港(新東京、東京、関西)の平均で、風向が66%、風速が64%であった。当面、風向、風速の適中率をそれぞれ2ポイント、3ポイント向上させることを目標として、飛行場予報に関する数値予報の改善、予報を支援する資料の充実を進める。また、今後とも、実績を踏まえて、適時に目標値の再設定を行う。				
(参考)過去の実績値				(備考)
H9	H10	H11	H12	H13
				66% 64%
				H13から精度評価を開始 上段：風向の適中率 下段：風速の適中率